

デジタル小電力コミュニティ無線機
IC-DRC1

この取扱説明書は、別売品のこと記載していますので、お読みになったあとも大切に保管してください。



はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けたデジタル小電力コミュニティ無線機です。

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

取扱説明書の構成について

本製品の取扱説明書は、本製品に付属の「ご使用になる前に」(別紙)、弊社ホームページに掲載の「取扱説明書」(PDFファイル)で構成されています。

ご使用になる前に(チラシ)

はじめて本製品をお使いになる前に、知っておいていただきたい安全上のご注意や本製品の基本的な操作方法などについて記載しています。

取扱説明書(本書)

各種機能の詳細や使用方法について記載しています。

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、TOKUDERは、アイコム株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標、または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

付属品について

- アンテナ…………… 1
- ハンドストラップ…………… 1
- ベルトクリップ…………… 1
- ACアダプター(USBケーブル付)…………… 1
- バッテリーパック…………… 1
- ご使用になる前に
- IC-DRC1用アンテナについて
- 保証書

本製品の概要について

- ◎ IP54(防塵形と防まつ形)*の性能に対応できるように設計されています。(バッテリーカバー、アンテナ、[マイク/イヤホン]ジャックと[USB]コネクターの保護カバー装着時に限る)
- ◎ デジタル無線機の特長として、高音質で通話ができます。
- ◎ 位置情報サーチ機能を使用すると、登録している相手の位置情報を取得できます。
- ◎ 周囲音送信機能を使用すると、登録している相手の無線機から自動送信させることで、相手の周囲音を約10秒間受信できます。
- ◎ 本製品は、法律で位置情報機能の搭載が義務付けられたコミュニティ無線専用の無線機です。

★「IP表記について」(P.iii)をご覧ください。

CS-DRC1/RS-DRC1について

本製品では、弊社ホームページから無償でダウンロードできる下記のソフトウェアをご用意しています。

CS-DRC1：個人やグループの名称を編集できるソフトウェアです。(近日公開予定)

RS-DRC1：位置情報を地図上に表示できるソフトウェアです。(近日公開予定)

※使用法は、弊社ホームページに掲載の各取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

音声圧縮(符号化)方式について

本製品の音声圧縮(符号化)方式は、弊社が開発したTOKUDER方式を採用しています。

はじめに

GPSに関する注意事項

GPS(Global Positioning System)は、米国が開発、および運用管理をしています。

同国の政策上、予告なしに測位精度の悪化、GPS衛星の調整、試験、および軌道修正などで、いくつかの衛星信号が発信停止する場合や、メンテナンスなどで衛星から異常電波が発信される場合があります。このような場合、誤作動したり、測位精度が著しく悪化したりする場合があります。

下記の注意事項を十分配慮して、GPSをお使いください。

測位精度に関する注意事項

受信衛星の配置や電磁障害、マルチパスなどの影響により、測位精度が著しく悪化した状態(位置飛びなど)が発生する場合がありますので、ご注意ください。

装備に関する注意事項

本製品は、ノイズを発生する回路や機器からなるべくはなしてください。

GPS信号の周波数帯(1.575GHz付近)や、その整数分の1となる周波数の高調波が、受信や測位に影響を与える場合があります。

電波法上のご注意

◎本製品は、電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。分解や改造をしないでください。

◎本製品は、アンテナを含めて技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。そのため、ご使用いただけるアンテナは、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けたものに限定されます。同梱の「IC-DR01用アンテナについて」を参考にしてください。

技術基準適合証明(工事設計認証)を受けていないアンテナを使用すると、電波法違反で罰せられる場合がありますので、ご注意ください。

◎他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。

◎本製品は、電波法施行規則第6条第4項第2号(13)で定める、人・動物検知通報システムであり、位置情報の取得および通報の機能が義務付けられている特定小電力無線局です。

免許不要局であり、無線局の免許や登録の申請および電波利用料は必要ありません。動物の行動や状態を管理する無線システムと同じ周波数を使用していますので、サルやクマ等の出現のおそれがある場所では混信のおそれがあるため、ご使用をお控えください。

取り扱い上のご注意

◎アンテナを持って製品を持ち運んだり、振り回したりしないでください。

◎本製品を極端に寒い場所から持ち運んだ場合は、結露する可能性があります。

結露した場合は、自然乾燥させるか、長いあいだ同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。

◎雨の中や、水滴が付着したまま、またはぬれた手でバッテリーカバーやアンテナ、[マイク/イヤホン]ジャックや[USB]コネクタの保護カバーを取り付けたり、はずしたりしないでください。

◎水や湯を水道の蛇口から直接当てないでください。

◎無線機本体やバッテリーパックと充電器の各端子(充電端子および電源ジャック)、アルカリ電池ケースの電池端子にゴミやホコリが付着すると、正常に使用できないことがあります。

乾いた布などで、各端子を定期的にふいてください。

◎磁気カードを無線機に近づけないでください。

磁気カードの内容が消去されることがあります。

◎バッテリーパックをお買い上げいただいたときや、2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してください。

◎本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

自動車運転時のご注意

◎安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。

◎無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。

◎安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。

一部の都道府県では、運転中にイヤホンやヘッドホンなどを使用することが規制されています。

◎安全運転のため、無線機を身体に付けた状態で運転しないでください。

はじめに

防塵/防水性能について

バッテリーカバー、アンテナ、[マイク/イヤホン]ジャックと[USB]コネクタの保護カバーを正しく取り付けられた状態で、IP54の防塵/防水性能があります。

次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

- 雨の中や、水滴が付着、またはぬれた手でバッテリーカバーやアンテナ、[マイク/イヤホン]ジャックや[USB]コネクタの保護カバーを取り付けたり、はずしたりしたとき
- 海水や砂、泥、洗浄液(洗剤)等が無線機に付着したまま放置したとき
- 落下等外的衝撃により、樹脂変形、ひずみ、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体に劣化が生じたとき
- 高い水圧をかけたとき
- 蛇口からの水や湯を直接当てたとき
- 無線機本体とバッテリーパック端子間の腐食による故障、または損傷があるとき
- -10°C ~ $+50^{\circ}\text{C}$ 以外の環境で使用したとき
- 薬品等の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置したとき
- 本製品を分解または改造したとき
- 無線機本体とバッテリーカバー、アンテナ、[マイク/イヤホン]ジャックと[USB]コネクタの保護カバーのすきまに微細なゴミ(糸くず、毛髪、砂など)が挟まっているとき

別売品の使用による防塵/防水性能について

アンテナ(FA-S44VS)、バッテリーパック(BP-286)、アルカリ電池ケース(BP-295)を無線機本体に装着することで、IP54の防塵/防水性能になります。

※上記以外の別売品を使用したときは、別売品を含めた防塵/防水性能の低いものに制限されます。

※別売品(P.8-1)は、防塵/防水性能をご確認のうえ、ご使用ください。

IP表記について

機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。

IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。

また、保護等級を定めない場合は、その等級の表記に該当する数字部分を「X」で表記します。

【本書で記載する保護の程度について】

IP5X(防塵形) : 試験用粉塵を 1m^3 あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機として機能すること

IPX4(防まつ形) : いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響がないこと

電磁ノイズについて

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

【インバーター回路内蔵のおもな電子機器】

- ◎LED照明器具
- ◎電磁調理器
- ◎給湯器
- ◎太陽光発電装置
- ◎自動車に搭載された電子機器

チャンネルについて

◎CH01~CH17 : 通話チャンネル

◎CH18(呼出CH)* : 呼出用チャンネル

★ 一時的な呼び出しをするときに使用します。

多くの局が呼出用チャンネルを使用しますので、呼び出し後の通話は、空いているチャンネルに切り替えてから通話をつづけてください。

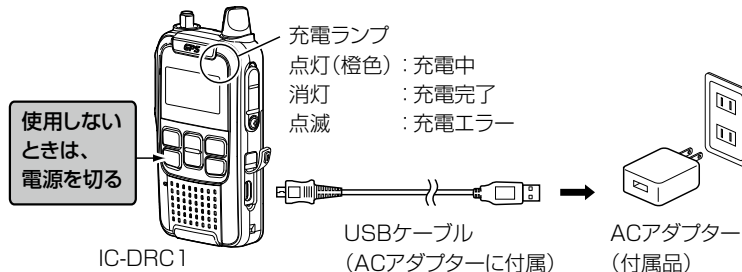
ご使用になる前に

■ 充電のしかた

お買い上げいただいたときや2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。

※電源を入れたまま充電すると、充電が完了するまでの時間が長くなります。

※充電ランプが点滅した場合は、充電エラーですので、ただちに充電をやめ、正しい温度範囲で充電しなおすか、新しいバッテリーパックに交換してください。



△危険

◎ 充電するときは、必ず本製品に対応した充電器をご使用ください。

◎ 「安全のご注意」(別紙)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

■ 充電時間と運用時間の目安

充電時間 約4時間30分(ACアダプターを使用時)

運用時間

設定条件	付属バッテリーパック (BP-286)	別売品アルカリ電池ケース (BP-295)
パワーセーブON* ¹	約14時間	約7時間
パワーセーブOFF* ²	約12時間	約6時間
条件：送信1、受信1、待ち受け受信18の割合で繰り返し運用		

★1 設定条件：パワーセーブ [メニュー/] > 「設定」 > 「パワーセーブ」 (ON)
GPSのパワーセーブ [メニュー/] > 「設定」 > 「GPS設定」 > 「パワーセーブ時間」 (オート)
[メニュー/] > 「設定」 > 「GPS設定」 > 「未測位経過時間」 (5分)

★2 設定条件：パワーセーブ [メニュー/] > 「設定」 > 「パワーセーブ」 (OFF)
GPSのパワーセーブ [メニュー/] > 「設定」 > 「GPS設定」 > 「パワーセーブ時間」 (OFF (GPS常時ON))
[メニュー/] > 「設定」 > 「GPS設定」 > 「未測位経過時間」 (OFF (GPS常時ON))

※推奨充電温度範囲10℃～35℃

※ご使用になる充電器によって、充電時間や運用時間が異なります。

使用条件やアルカリ乾電池の種類(製造元など)により、使用時間が大きく異なることがあります。

また、アルカリ乾電池の特性により、低温では使用時間が短くなります。

※バッテリーパックの残量がない状態で充電した場合の時間です。

※上記以外の方法で充電した場合の動作、使用時間は保証対象外です。

モバイルバッテリーなどでの充電で発生したいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご参考

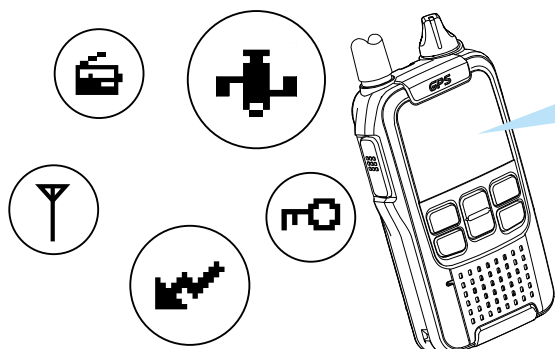
必要に応じて、下記のように設定されることをおすすめします。

屋内など、GPSによるバッテリーの消費を抑えたい場合 : 「★1 設定条件」のGPS設定(上記参照)

屋外など、積極的にGPSを活用したい場合 : 「★2 設定条件」のGPS設定(上記参照)

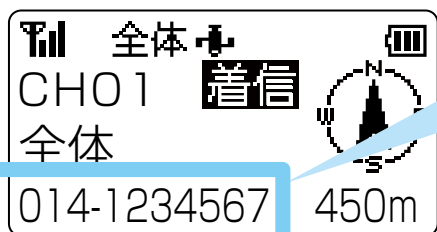
※GPSのパワーセーブ設定の詳細については7-3ページ、7-4ページをご覧ください。

よくあるご質問



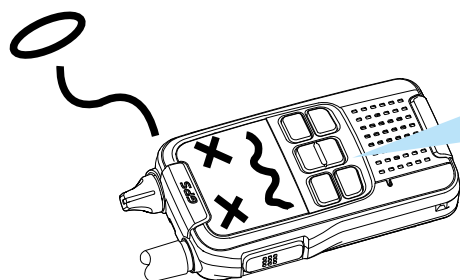
このアイコンの意味は？

➡ 1-2ページへ



受信したけど
この番号って何？

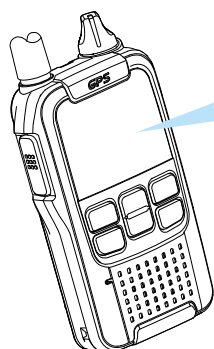
➡ 2-1ページ、3-5ページへ



電池の消耗を抑えたいときは？

➡ ivページへ

明るさを変えたい…
操作音を消したい…
リセットしたい…



今の設定を変えたいときは？

➡ 7-1ページ、7-2ページへ

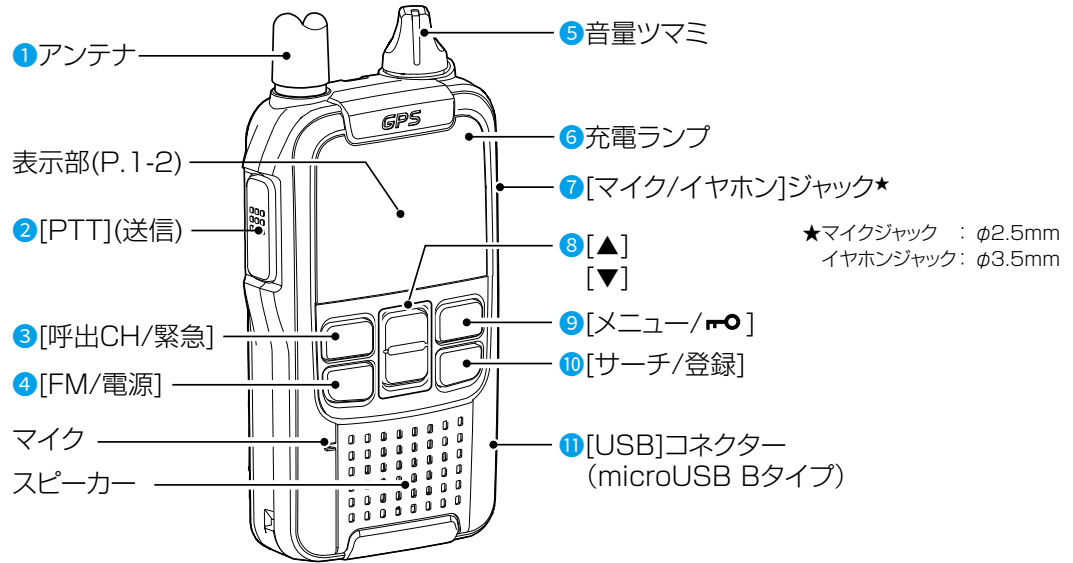
もくじ

はじめに	i	6.FM ラジオを聴く	6-1
取扱説明書の構成について	i	■ ラジオ機能	6-1
登録商標/著作権について	i	■ 放送局リスト	6-1
付属品について	i	■ スキャン選局	6-2
本製品の概要について	i	■ 手動選局	6-2
CS-DRC1/RS-DRC1について	i	■ 放送局削除	6-3
音声圧縮(符号化)方式について	i	■ 地域選択	6-3
GPSに関する注意事項	ii	■ アンテナ選択	6-3
電波法上のご注意	ii	7.メニュー	7-1
取り扱い上のご注意	ii	■ 設定項目一覧	7-1
自動車運転時のご注意	ii	■ 設定のしかた	7-2
防塵/防水性能について	iii	■ 設定項目について	7-2
別売品の使用による防塵/防水性能について	iii	8. 別売品について	8-1
IP表記について	iii	■ 別売品一覧表	8-1
電磁ノイズについて	iii	■ 別売品を接続するには	8-2
チャンネルについて	iii	■ AD-137(イヤホン端子変換アダプター)	8-2
ご使用になる前に	iv	■ BP-295(アルカリ電池ケース)	8-2
■ 充電のしかた	iv	■ BC-231(2口充電器):充電のしかた	8-3
■ 充電時間と運用時間の目安	iv	■ BC-231の連結について	8-3
1. 各部の名称と機能	1-1	9. ご参考に	9-1
■ 前面部/側面部	1-1	■ 日常の保守と点検について	9-1
■ 表示部	1-2	■ アフターサービスについて	9-1
2. はじめての通話	2-1	■ 初期状態に戻す(リセットする)には	9-2
■ 基本的な通話のしかた	2-1	■ 故障かな?と思ったら	9-3
■ 通話範囲について	2-2	10.USBドライバーのインストール	10-1
■ 送信時間制限について	2-2	■ インストールについて	10-1
■ 混信防止(キャリアセンス)機能について	2-2	11. 定格	11-1
3. 宛先設定	3-1	■ 無線機本体	11-1
■ 呼び出しのかたの種類について	3-1	■ BP-286 バッテリーパック(付属品)	11-1
■ 待ち受けの状態と受信の可否について	3-1	■ BC-232 ACアダプター	
■ 全体呼び出しのしかた	3-2	OPC-2394 USBケーブル(付属品)	11-1
■ グループ呼び出しのしかた	3-3	■ BP-295 アルカリ電池ケース(別売品)	11-1
■ 個人呼び出しのしかた	3-4	■ BC-231 2口充電器(別売品)	11-1
4. 位置情報検索	4-1	10.USBドライバーのインストール	10-1
■ 検索の種類について	4-1	■ インストールについて	10-1
■ 自分の位置情報を確認する	4-1	11. 定格	11-1
■ 位置情報サーチ	4-2	■ 無線機本体	11-1
■ 周囲音送信	4-2	■ BP-286 バッテリーパック(付属品)	11-1
5. 緊急呼び出し	5-1	■ BC-232 ACアダプター	
■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)	5-1	OPC-2394 USBケーブル(付属品)	11-1
		■ BP-295 アルカリ電池ケース(別売品)	11-1
		■ BC-231 2口充電器(別売品)	11-1

1

各部の名称と機能

■ 前面部/側面部



①	アンテナ	電波を発射、または受信する部分です。
②	[PTT] (送信) スイッチ	押しているあいだは送信状態、はなすと待ち受け状態(受信ができる状態)に切り替わります。
③	[呼出CH/緊急] キー	
	待ち受け画面	○短く押すと、呼び出しチャンネルに切り替わります。(P.2-2) ○長く(約5秒)押すと、緊急呼び出し(エマージェンシー)モードに切り替わります。(P.5-1)
	メニュー画面	○短く押すと、選択前の画面に戻ります。(P.7-2)
④	[FM/電源] キー	
	待ち受け画面	○ラジオ機能がONの場合、短く押すと、FMラジオを「ON」/「OFF」します。(P.6-1) ○長く(約3秒)押すと、電源を「ON」/「OFF」します。
	メニュー画面	○短く押すと、待ち受け画面に戻ります。
⑤	音量ツマミ	音量の調整をします。
⑥	充電ランプ	充電しているあいだは橙色に、完了すると消灯します。

⑦	[マイク/イヤホン]ジャック	別売品のイヤホンなどを接続するときは、保護カバーをはずして接続してください。 ※防水性能の維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、保護カバーを取り付けてご使用ください。
⑧	[▼]/[▲]キー	
	待ち受け画面	チャンネルの変更や、設定値の切り替えをします。
	メニュー画面	設定値の切り替えをします。
⑨	[メニュー/電源]キー	
	待ち受け画面	○短く押すと、メニュー画面に切り替わります。 ○長く(約1秒)押しごとに、ロック機能を「ON」/「OFF」できます。
	メニュー画面	設定項目を決定します。
⑩	[サーチ/登録]キー	
		○短く押すと、サーチメニュー画面に切り替わります。 ○長く(約1秒)押すと、宛先登録/削除画面が表示されます。
⑪	[USB]コネクタ(microUSB Bタイプ)	付属のACアダプター(BC-232)を使用して充電するコネクタです。(P.iv) 付属のUSBケーブル(A-microBタイプ)で本製品とパソコンなども接続できます。(P.10-1)

1 各部の名称と機能

■ 表示部



※説明のための表示例です。
実際の画面とは異なります。

①	受信している電波の強さ(目安)を4段階で表示 ★ 待ち受け時や送信時、受信電波の強さが著しく弱いときの表示です。 無★ 弱 中 強	P.2-1
②	混信防止(キャリアセンス)表示	P.2-2
③	呼び出しの種類 全体 全体呼び出し グループ グループ呼び出し 個人 個人呼び出し	P.3-1
④	位置情報取得	P.2-1
	(点滅) 位置情報未取得	—
	表示なし GPSパワーセーブ中	P.7-3
⑤	呼び出しチャンネルスキャン機能設定時	P.7-3
⑥	ロック機能動作時	P.2-2
⑦	FMラジオ ON時	P.6-1
⑧	電池の残量(目安)を4段階で表示 十分 残量あり 残量少(早めに充電) 残量なし(要充電)	—
	乾電池使用時(別売品: BP-295)	
	USB給電時	
	充電時	
	充電時での充電障害発生時	

⑨	コンパス表示(相手の方向)	P.2-1
⑩	発信 送信時に点灯	P.2-1
	着信 着信時に点滅	P.2-1
	緊急 緊急呼び出し時に点灯	P.5-2
⑪	応答 緊急呼び出しで応答があると点灯	P.5-2
	日付表示 (月日、曜日、時間を表示) ※着信時は、相手の機器IDと距離を表示	P.2-1
⑫	宛先表示 ※CS-DRC1で個人名やグループ名を設定している場合は、その名称が表示	P.3-1
⑬	CH表示 ※呼び出しCH設定時は、「呼出CH」が表示	P.2-1

2

はじめての通話

■ 基本的な通話のしかた

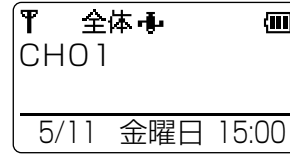
基本的な通話方法について、説明します。

1 通話チャンネルを合わせる

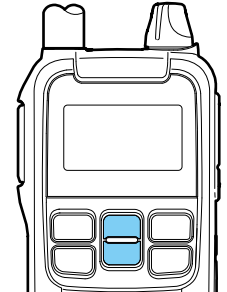
[▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

※選択範囲：01～17、呼出CH

※[▼]/[▲]を押しつづけると、連続で切り替わります。一巡すると、「ピピッ」と鳴ります。



通話チャンネル



2 呼び出しをする(送信する)

[]が表示されていないことを確認し、[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。呼びかけたらすぐに、[PTT]をはなします。

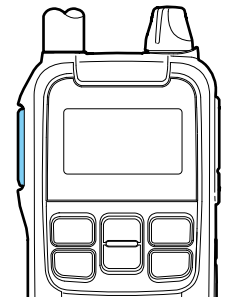
• 押しているあいだは、「発信」が表示されます。

※電波法により、連続送信(通話状態)が1分を超えると、通話を自動的に切断します。

切断後、2秒間は送信できません。



送信中



マイクに向かって話すときは、口元から5cmほどはなし、普通のおおきさの声で通話してください。マイクを近づけすぎたり、おほきな声を出したりすると、通信の音質が悪くなることがありますのでご注意ください。

3 呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、「着信」が表示され、受信している電波の強さ(目安)が4段階で表示されます。

※受信中は、呼び出しの種類(全体/グループ/個人)、「着信」、送信側の機器ID、宛先表示が点滅し、送信側との方向と距離が表示されます。

※応答するときには、「着信」が消えたことを確認してから、[PTT]を押します。

受信している電波の強さ



受信側
送信側の機器ID

相手がいる方向
※どちらかの位置情報が不明な場合、矢印が非表示

送信した人との距離

※どちらかの位置情報が不明な場合、受信信号の強度によって「遠い」/「近い」が表示されます。
※どちらかの位置情報が5分以上前の情報の場合、点滅します。

2 はじめての通話

呼び出し用チャンネルについて

「呼出CH」で送信すると、電波が届くすべての無線機に対して送信します。

受信側は、呼出CHになっているか、呼び出しチャンネルスキャンがONに設定されている必要があります。

呼出CHは、通話したい相手に通話チャンネルを伝えたいときや、緊急時や一斉に呼びかけたい場合など一時的な呼び出しにご使用ください。

「呼出CH」で呼び出し後、通話をつづける場合は、空いている通話チャンネルに切り替えてから通話してください。

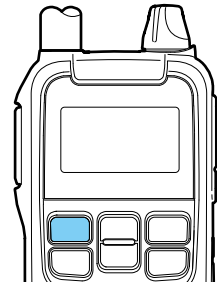
※[呼出CH/緊急]を短く押すごとに、呼出CHと通話チャンネルを切り替えます。

メニュー画面の「呼出CHスキャン」項目をONに設定すると、別のチャンネルを表示していても、「呼出CH」から呼び出しがあると、「呼出CH」からの音声を受信します。

[メニュー/☎] > 「設定」 > 「呼出CHスキャン」(P.7-3)



呼出用チャンネル表示



ロック機能

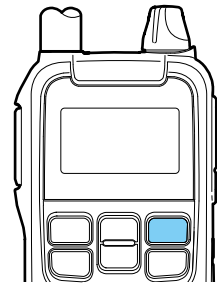
[メニュー/☎]を長く(約1秒)押すと、「ピピッ」と鳴って、「☎」が点灯します。

※同じ操作をすると、ロック解除できます。

※[PTT]、音量ツマミ、[FM/電源](電源ON/OFF)は、ロック中でも使用できます。



ロック機能表示



■ 通話範囲について

周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信しにくくなる場合があります。

◎通話範囲は、周囲の建物などの状況により異なりますので、下記の数値を目安に通話してください。(送信出力:0.5W)

市街地：約200～500m、郊外：約1～2km、見通しの良い場所：約3km

◎通話範囲であっても、山や建物などが障害物となって、通話しにくくなる場合があります。そのときは、場所を少し移動して通話してください。

また、テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、および電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれてご使用ください。

■ 送信時間制限について

1回の送信で連続して通話できる時間は、「1分以内」と電波法で定められています。

制限時間の10秒前になると、「ピッ」と鳴ります。連続通話時間が1分になると、「ブブッ」と鳴って、自動的に送信を停止します。停止してから2秒間は送信できませんが、再度[PTT]を押すと送信できます。

■ 混信防止(キャリアセンス)機能について

無線局の運用では、同じ通話チャンネルで自分が送信中のときにほかの人が送信すると、混信を受け通話ができない場合があります。

また、ほかの人が通話中のチャンネルで送信すると、その通話を妨害することになります。

このような混信を防止するために、同じチャンネルで一定レベルの電波を本製品が受信している場合は、通話中とみなし、送信できないよう自動的に制御する機能をキャリアセンスといいます。

キャリアセンスは、本製品が送信を開始するときに動作します。



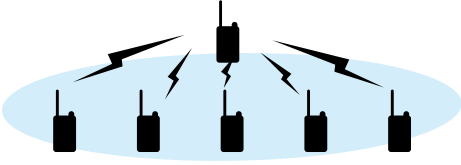
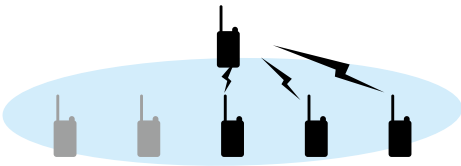
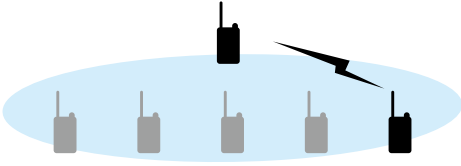
3秒以上通話が途切れた場合、本製品が通話を終了したと判断し、次の送信開始時からキャリアセンス機能が動作します。なお、ほかの電子機器からの電波を受信した場合(混信や妨害波を含む)についてもキャリアセンスが動作し送信できないことがあります。故障ではありません。本製品は、電波法によりこのキャリアセンスの搭載が義務付けられています。

3

宛先設定

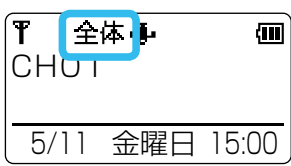
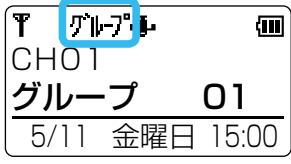

■ 呼び出しかたの種類について

呼び出しかたには、次の3種類の方法があります。

呼び出しの種類	概要	イメージ図  : 通信できる  : 通信できない
全体呼び出し	通話チャンネルが同じ相手を一斉に呼び出します。(P.3-2)	
グループ呼び出し	通話チャンネルとグループ番号が同じすべての相手を呼び出します。(P.3-3)	
個人呼び出し	通話チャンネルが同じで、呼び出す相手の機器IDを指定して呼び出します。(P.3-4) <ul style="list-style-type: none"> 自分の機器IDの確認(P.3-5) 相手の機器IDの登録(P.3-5) 登録した機器IDの削除(P.3-6) 	

■ 待ち受けの状態と受信の可否について

待ち受け画面の宛先設定状態によって受信できる呼び出しが異なりますので、下表でご確認ください。

待ち受け画面の宛先設定状態	相手からの呼び出しの種類	受信できる○ / 受信できない×
	全体呼び出し	○
	グループ呼び出し	○
	個人呼び出し	○(自分の機器IDで呼ばれたときのみ*)
	全体呼び出し	○
	グループ呼び出し	○(同じグループ番号のみ)
	個人呼び出し	○(自分の機器IDで呼ばれたときのみ*)
	全体呼び出し	×
	グループ呼び出し	×
	個人呼び出し	○(自分の機器IDで呼ばれたときのみ*)

★トークバック機能について

トークバック機能とは、自分の待ち受け画面がどの宛先でも、自分の機器IDで呼ばれると、[PTT]を押すだけで、そのまま呼ばれた相手と通話できる機能です。

「個人」に設定する手間がなく、ほかの着信をしないかぎり、時間制限なく「個人」宛先のままで呼べますが、2回目から送信終了後、5秒間の時間制限がかかり、呼ばれる前の宛先に戻ります。

3 宛先設定

項目選択操作の表記について

本書では、各メニューに表示される項目の選択操作を略表記で説明しています。

略表記 …………… 「宛先」を選択する

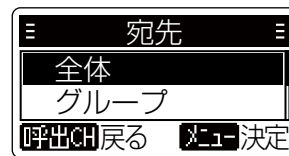
略表記の詳細説明 …… [▼]/[▲]を押して「宛先」を選択し、[メニュー/Ⓜ]を押す

■ 全体呼び出しのしかた

通話チャンネルが同じ相手を一斉に呼び出します。

1 宛先を「全体」に設定する

1. [メニュー/Ⓜ]を短く押して、メニュー画面に切り替える
2. 「宛先」を選択する
3. 「全体」を選択する
 - 「全体」が表示されます。



メニュー画面
(全体選択)



2 通話チャンネルを合わせる

[▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

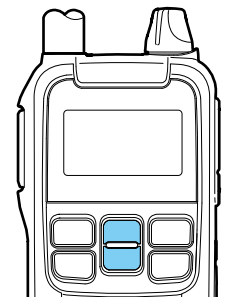
※設定できる範囲は、「01～17、呼出CH」です。

※[▼]/[▲]を押しつづけると、連続で切り替わります。

一巡すると、「ピピッ」と鳴ります。



通話チャンネル



3 呼び出しをする(送信する)

[PTT]を押しながら、相手に呼びかけます。

- 「発信」が表示されます。



送信中



4 呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、「着信」が表示され、受信している電波の強さ(目安)が4段階で表示されます。

※受信中は、呼出種別、「着信」、送信側の機器ID、宛先表示が点滅し、送信側との方向と距離が表示されます。

※応答するときは、「着信」が消えたことを確認してから、[PTT]を押します。



受信中



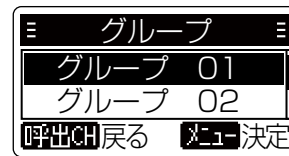
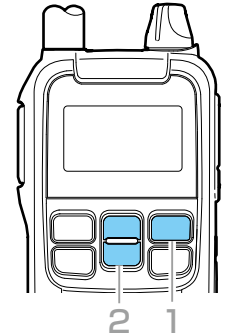
3 宛先設定

■ グループ呼び出しのしかた

通話チャンネルとグループ番号が同じすべての相手呼び出します。

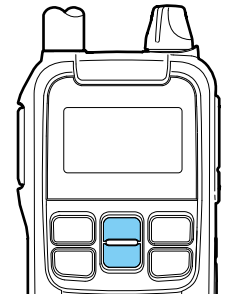
1 グループを設定する

1. [メニュー/☰]を短く押して、メニュー画面に切り替える
2. 「宛先」を選択する
3. 「グループ」を選択する
4. 相手と同じグループ番号を選択する
 - 「グループ」とグループ番号が表示されます。※設定できる範囲は、「01～63」です。



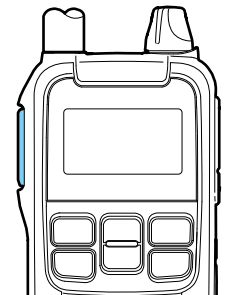
2 通話チャンネルを合わせる

- [▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。
- ※設定できる範囲は、「01～17」です。
- ※[▼]/[▲]を押しつづけると、連続で切り替わります。一巡すると、「ビピッ」と鳴ります。



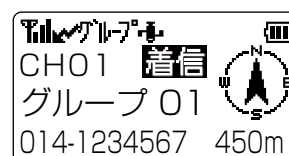
3 呼び出しをする(送信する)

- [PTT]を押しながら、相手に呼びかけます。
- 「発信」が表示されます。



4 呼び出しを受ける(受信する)

- 信号を受信すると、「着信」が表示され、受信している電波の強さ(目安)が4段階で表示されます。
- ※受信中は、呼出種別、「着信」、送信側の機器ID、宛先表示が点滅し、送信側との方向と距離が表示されます。
- ※応答するときは、「着信」が消えたことを確認してから、[PTT]を押します。



3 宛先設定

■ 個人呼び出しのしかた

通話チャンネルが同じで、呼び出す相手の機器IDを指定して呼び出します。

※個人呼び出しをするには相手の機器IDを登録している必要があります。(相手の機器IDの登録 P.3-5)

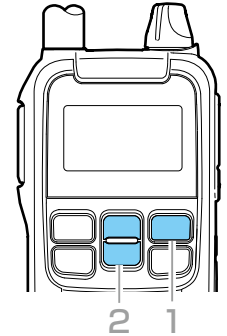
※プログラミングソフトウェアCS-DRC1(近日公開予定)で、機器IDを任意の名前に編集できます。

詳しくは、弊社ホームページをご確認ください。

1 個人を設定する

1. [メニュー/☰]を短く押して、メニュー画面に切り替える
2. 「宛先」を選択する
3. 「個人」を選択する
4. 相手の機器IDを選択する
 - 相手の機器IDが表示されます。

※相手の機器IDの登録(P.3-5)



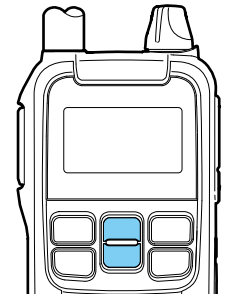
2 通話チャンネルを合わせる

[▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

※設定できる範囲は、「01～17」です。

※[▼]/[▲]を押しつづけると、連続で切り替わります。

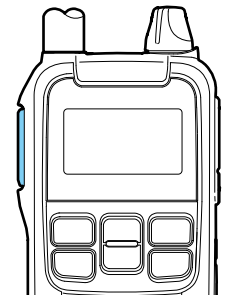
一巡すると、「ビピッ」と鳴ります。



3 呼び出しをする(送信する)

[PTT]を押しながら、相手に呼びかけます。

- 「発信」が表示されます。

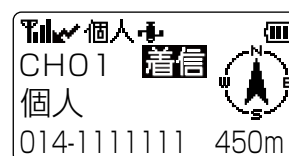


4 呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、「着信」が表示され、受信している電波の強さ(目安)が4段階で表示されます。

※受信中は、呼出種別、「着信」、送信側の機器ID、宛先表示が点滅し、送信側との方向と距離が表示されます。

※応答するときは、「着信」が消えたことを確認してから、[PTT]を押します。



3 宛先設定

■ 個人呼び出しのしかた

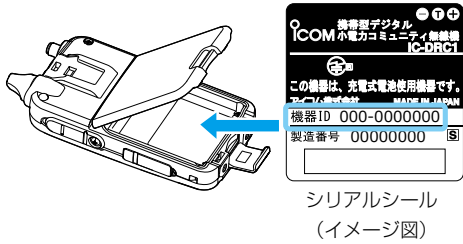
◇自分の機器IDの確認

無線機1台ずつに機器IDが割り当てられています。

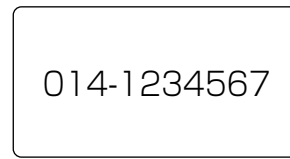
[FM/電源]を長く(約1秒)押して電源を入れる

- 「IC-DRC1」が表示されたあと機器IDが表示され、その後待ち受け画面が表示されます。

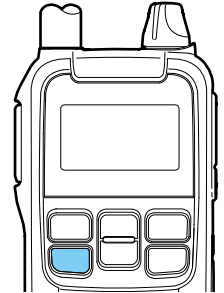
※シリアルシールにも機器IDが記載されています。



オープニング画面



機器ID表示



※CS-DRC1を使って無線機に機器名称を設定した場合は、その名前が機器IDの代わりに表示されます。機器名称は全角6文字(半角12文字)の任意の名前を登録できます。

◇相手の機器IDの登録

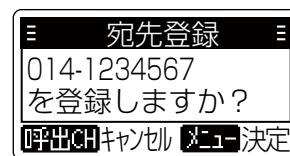
機器IDの登録のしかたは、「受信時登録」、「サーチして登録」(P.3-6)、「履歴から登録」(P.3-6)の3種類あります。いずれも「宛先」項目の「個人」に追加登録されます。([メニュー/] > 「宛先」 > 「個人」)
※最大30件まで登録できます。

「受信時登録」する場合

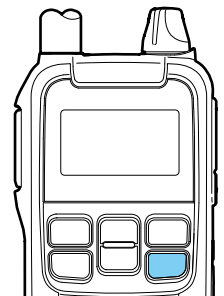
1. 受信時、画面下に相手の機器IDが表示されるのを確認する
 2. [サーチ/登録]を長く(約1秒)押す
 3. 「XXX-XXXXXXXを登録しますか?」が表示されたら、[メニュー/]を押す
※すでに登録されている機器IDを登録しようとする
と、「この宛先は既に登録されています」が表示されます。
 4. 登録場所を選択する
 - 「XXX-XXXXXXXを登録しました」が表示され、メニューにある「宛先」項目の「個人」に追加されます。
- ※上書きもできます。



受信時
未登録の機器ID



登録確認画面



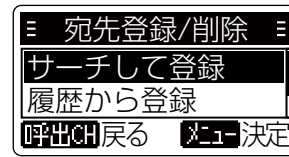
3 宛先設定

■ 個人呼び出しのしかた

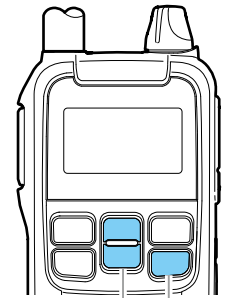
◇相手の機器IDの登録

「サーチして登録」する場合

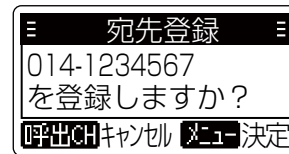
1. [サーチ/登録]を長く(約1秒)押して、宛先登録/削除画面に切り替える
2. 「サーチして登録」を選択する
 - 「サーチ信号を送りました」が表示されます。
 - 応答がない場合は、「応答なし」が表示されます。
3. 「XXX-XXXXXXXXを登録しますか?」が表示されたら、[メニュー/決定]を押す
 - ※すでに登録されている機器IDは、表示しません。
 - 「ID登録場所」が表示されます。
4. 「(未登録)」を選択する
 - 「XXX-XXXXXXXXを登録しました」が表示され、メニューにある「宛先」項目の「個人」に追加されます。



宛先登録/削除画面
(サーチして登録選択)



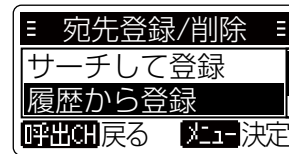
2 1



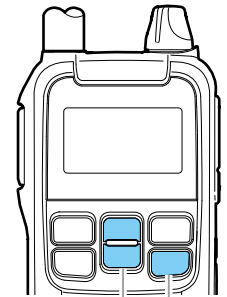
登録確認画面

「履歴から登録」する場合

1. [サーチ/登録]を長く(約1秒)押して、宛先登録/削除画面に切り替える
2. 「履歴から登録」を選択する
 - 受信した未登録の機器IDが一覧表示されます。
 - ※履歴の状況によっては、同じ機器IDが複数表示されることがあります。
3. 登録したい機器IDを選択する
 - 「ID登録場所」が表示されます。
4. 「(未登録)」を選択する
 - 「XXX-XXXXXXXXを登録しました」が表示され、メニューにある「宛先」項目の「個人」に追加されます。



宛先登録/削除画面
(履歴から登録選択)



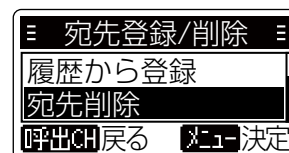
2 1



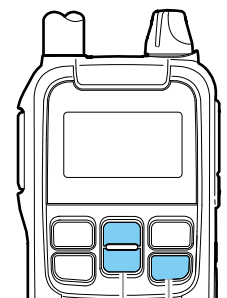
機器ID選択表示

◇登録した機器IDの削除

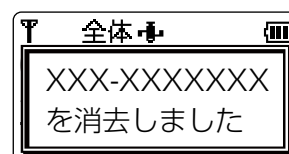
1. [サーチ/登録]を長く(約1秒)押して、宛先登録/削除画面に切り替える
2. 「宛先削除」を選択する
 - 登録している機器ID一覧が表示されます。
3. 削除したい機器IDを選択する
 - 「XXX-XXXXXXXXを消去しました」が表示され、メニューにある「宛先」項目の「個人」から削除されます。
 - ※再度同じ操作をし、(未登録)を選択すると、削除した機器IDが復活します。



宛先削除選択



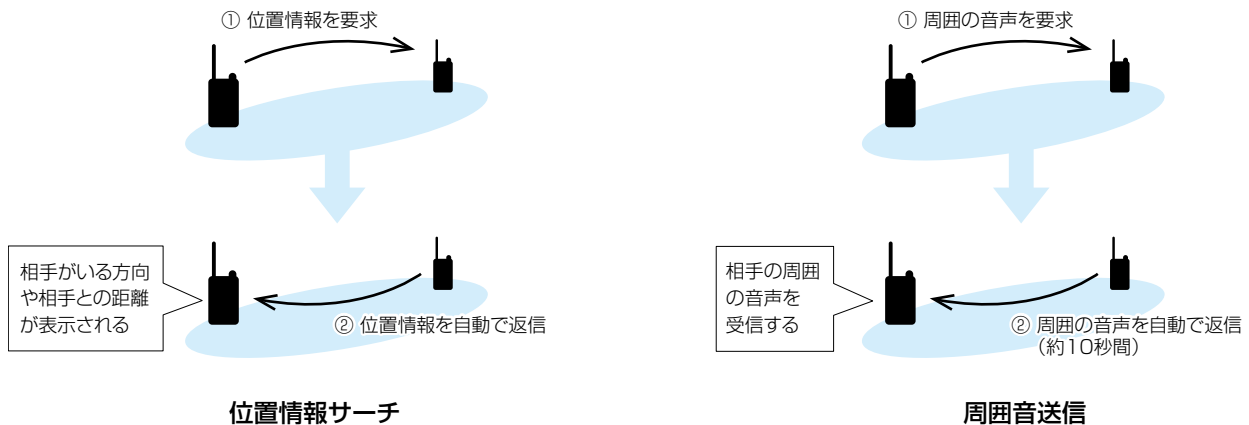
2 1



■ 検索の種類について

本製品は、GPSを使って相手の位置情報を検索したり(位置情報サーチ)、相手が通信できないときなどに相手の周囲音声を約10秒間送信させたり(周囲音送信)できます。

※上記の操作をするには相手の機器IDを登録している必要があります。(相手の機器IDの登録 P.3-5)



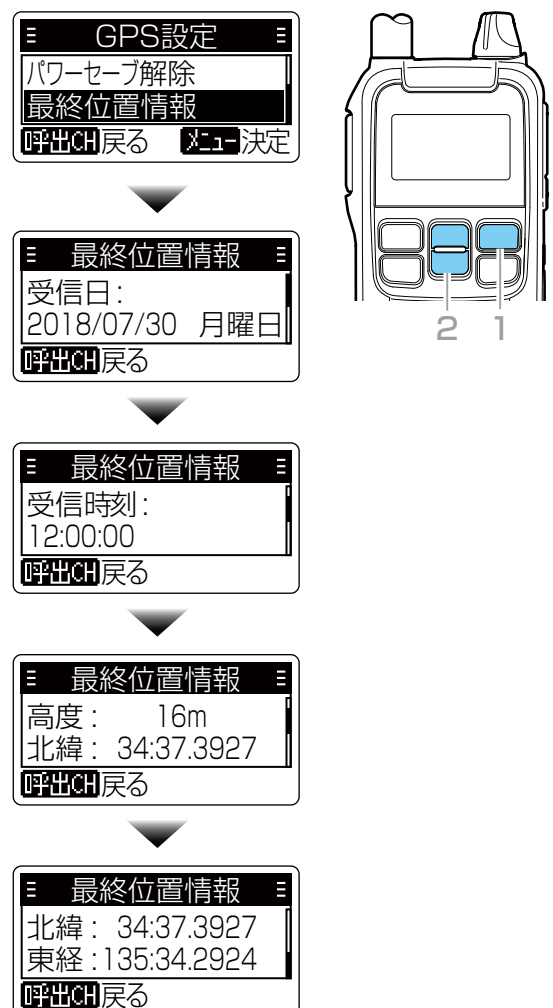
GPSをお使いの前に、「GPSに関する注意事項」も併せてご覧ください。(P.ii)

■ 自分の位置情報を確認する

最後に取得した自分の位置情報を確認します。

確認時に位置情報が取得できていない場合、または非表示の場合は、電源を入れてから前回取得した最終の位置情報を表示します。

- 位置情報が取得できているか確認する
 - (点滅) 位置情報取得できている状態
 - (点滅) 位置情報取得できていない状態
- [メニュー/戻る]を短く押して、メニュー画面に切り替える
- 「設定」を選択する
- 「GPS設定」を選択する
- 「最終位置情報」を選択する
 - [▼]/[▲]を押すと、受信日、受信時刻、高度、北緯、東経を表示されます。
 - 位置情報が取得できていないときは、「測位情報がありません」が表示されます。



4 位置情報検索


■ 位置情報サーチ

通話をしなくても、GPSで相手の居場所を検索します。
 ※この機能を使用するには、相手の機器IDが登録されていることと、送信側/受信側ともに位置情報を取得できている必要があります。

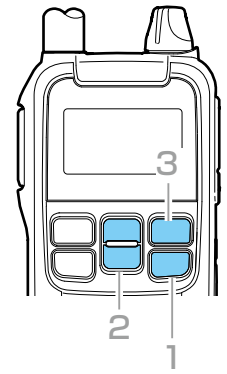
※位置情報は、最後に取得した位置情報を使用します。
 この位置情報は電源を切るまで保持されます。

1. [サーチ/登録]を短く押して、サーチメニュー画面に切り替える
2. 「位置情報サーチ」を選択する
3. 宛先を選択する
 - サーチを開始し、「発信」が点滅します。
 - 相手の無線機からの応答がない場合は、「応答なし」が表示されます。
 - 応答があれば、相手の機器IDと方向と距離が表示されます。

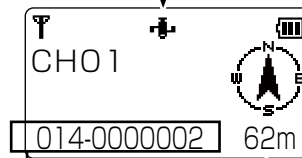
◎屋内では特に、ご使用になる場所や建物の周辺環境によって、GPS衛星からの信号(位置情報)を受信できない場合があります。

◎GPS信号の受信状態によっては、 (位置情報取得状態)が表示されていても、距離や方向の情報が正確でない場合や、「遠い」/「近い」が表示される場合があります。その場合は、次回取得するまで表示し続けるため、見通しの良いところでGPS信号を受信しなおしてください。

◎RS-DRC1に接続しているときは、本製品の位置情報サーチ機能が使用できません。
 RS-DRC1の子機サーチ機能をご使用ください。



位置情報が取得できている状態



相手の機器ID

相手との距離

相手がいる方向
 ※どちらかの位置情報が不明な場合、矢印が非表示

※どちらかの位置情報が不明な場合、受信信号の強度によって「遠い」/「近い」を表示
 ※どちらかの位置情報が5分以上前の情報の場合、点滅

■ 周囲音送信

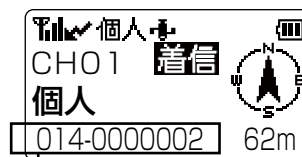
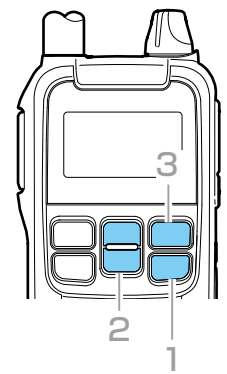
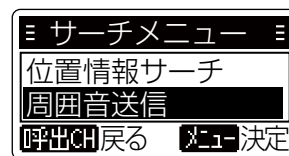
相手の周囲音を受信できます。

緊急時など、相手が送信できない状態でも周囲の音を受信することで、状況把握に活用できます。

※この機能を使用するには、相手の機器IDが登録されていることと、相手の無線機で、「周囲音送信」項目が「禁止しない」に設定されている必要があります。
 (メニュー > 設定 > 送信禁止 > 周囲音送信)

1. [サーチ/登録]を短く押して、サーチメニュー画面に切り替える
2. 「周囲音送信」を選択する
3. 宛先を選択する
 - 送信を開始し、「発信」が点滅します。
 - 相手の無線機から周囲音が10秒間送信されます。
 - 相手の無線機からの応答がない場合は、「応答なし」が表示されます。
 - 応答中は、「着信」が点滅し、10秒間、周囲の音を受信します。

マイクに向かって話す声よりも、はなれた周囲の音を受信するため、受信音質が悪くなったり、聞き取りにくくなったりする場合がありますが、故障ではありません。



相手の機器ID

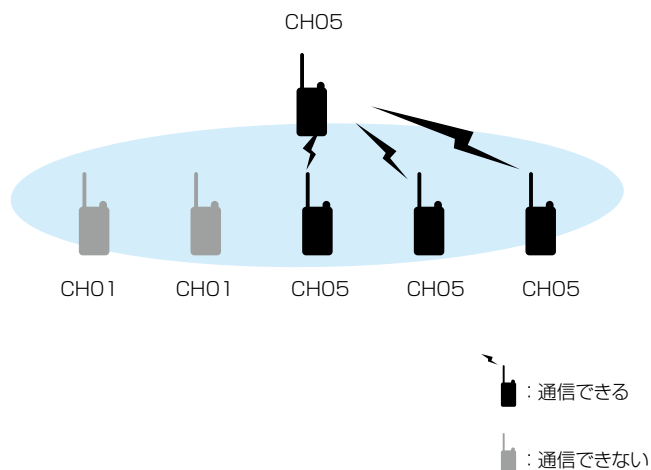
相手との距離

相手がいる方向
 ※どちらかの位置情報が不明な場合、矢印が非表示

※どちらかの位置情報が不明な場合、受信信号の強度によって「遠い」/「近い」を表示
 ※どちらかの位置情報が5分以上前の情報の場合、点滅

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

迅速な連絡が必要な場合、通話チャンネルが同じ相手に、緊急表示と警告音で一齐に通知できます。



△警告

緊急呼び出し機能(エマージェンシー)は、大きな音量の警告音が連続で鳴ります。

本製品にヘッドセットやイヤホンを取り付けて、緊急呼び出し機能を使用する場合は、音量ツマミを回して、適切な音量になっていることを確認してください。

下記のような場合、正しく設定されていても緊急呼び出しが通知されなかったり、通知されても警告音が鳴らなかったりすることがあります。

- ◎音量が最小に設定されている場合
- ◎動作中、電池の消耗により自動的に電源が切れた場合
- ◎電波状況の悪化により電波が届かない場合

緊急呼び出し機能の使用について

本製品に搭載されている緊急呼び出し機能は、電池の消耗、周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)など、周囲の環境によっては、通信できないこともありますので、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的としていません。

補助的な使用を目的とした機能としてご理解ください。

緊急呼び出し機能を使用できないことが原因で発生したいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

5 緊急呼び出し

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

【緊急呼び出しのしかた】

下記の操作をすると、自分と同じ通話チャンネルの相手へ一斉に緊急呼び出しします。

1. 緊急呼び出しをする相手と同じ通話チャンネル番号を選択する
2. 「緊急」が表示されるまで、[呼出CH/緊急]を長く(5秒以上)押す
 - 「緊急」表示と同時に、「ピピピ…」と鳴り、30秒ごとに位置情報を送信します。
3. その状態で、相手から応答があるのを待つ
 - 緊急呼び出しを受信した無線機から応答があると、警告音が停止し、「着信」と、相手の機器ID、方向、距離が表示されます。
 - 「着信」が消えると、「応答」表示に変わります。
4. 通話をつづけます。
 - 「応答」状態になっても、緊急呼び出しを停止するまで、「ピーピー」と鳴り、30秒ごとに位置情報を送信します。

※「緊急」や「応答」状態でも、通話できます。

緊急呼び出しの送信側/受信側ともに、「緊急」や「応答」表示中、[FM/電源]を短く押すと、FMラジオをON/OFFできますが、ラジオは聴けません。
緊急呼び出しの停止操作(下記参照)をすると、ラジオが聴けるようになります。

【緊急呼び出しを受けたときは】

1. 「ピピピ…」と鳴り、「緊急」表示に変わる
 - 呼び出し先の機器ID、方向、距離が表示されます。
2. [PTT]を押して、応答する
 - 警告音が停止します。
3. 通話をつづけます。

【緊急呼び出しを停止するには】

下記の操作をすると、緊急呼び出しを停止します。

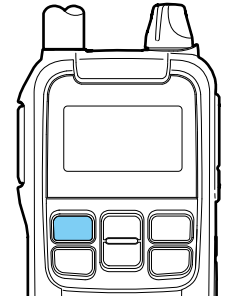
- [呼出CH/緊急]を長く(5秒以上)押す
- 無線機の電源を切る
- チャンネル変更

ご注意

混信防止機能(P.2-2)により送信制限されている場合は、「送信不可」と表示され、緊急呼び出しができません。



緊急呼び出し送信表示



着信時



応答表示

緊急呼び出しに対して、応答があると表示する



緊急呼び出し受信表示



応答後の表示

※送信した直後は、「応答」の表示が消えます。
しかし、緊急呼び出しをした無線機から再度位置情報が送られてくるため、この画面になります。

本製品は、FMラジオ放送を受信できます。

また、待ち受け画面とは別にラジオ画面があり、待ち受けをしながらラジオが聴けます。

放送局リストに、あらかじめ各地域の放送局が登録されているため、聴きたい放送局を放送局リストから探せます。

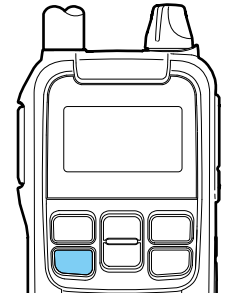
■ ラジオ機能

ラジオ機能をONにすると、[FM/電源]を短く押すだけで、FMラジオをON/OFFできます。

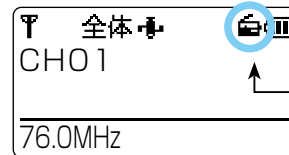
1. [メニュー/電源]を短く押して、メニュー画面に切り替える
 2. 「FMラジオ」を選択する
 3. 「ラジオ機能」を選択する
 4. 「ON」を選択する
 - 待ち受け画面に戻ると、ラジオのアイコンとFMラジオの周波数が表示されます。
- ※次回から[FM/電源]を短く押すだけで、FMラジオをON/OFFできます。
そのたびに「ラジオ ON」、「ラジオ OFF」が表示されます。



ラジオ ON



ラジオをONにしたときのアイコン



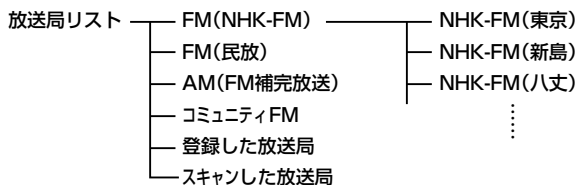
FMラジオの周波数

■ 放送局リスト

FMラジオの放送局リストから聴きたい放送局を選択します。

※放送局リストは地域設定により、異なります。
受信地域を変更する場合は、6-3ページをご覧ください。

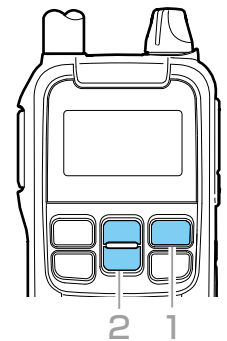
階層は、下図のようになります。



1. [メニュー/電源]を短く押して、メニュー画面に切り替える
2. 「FMラジオ」を選択する
3. 「放送局リスト」を選択する
 - 放送局リストが表示されます。
4. 放送局グループを選択する
5. 放送局を選択する
 - 待ち受け画面の下に選択した放送局が表示されます。



↑ 選択した放送局



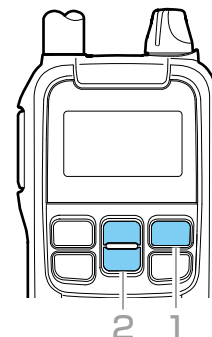
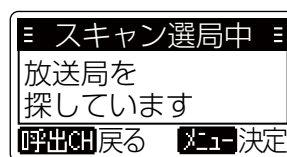
ラジオをONにしたときのアイコン

6 FM ラジオを聴く

■ スキャン選局

FMラジオの周波数をスキャンして、受信した放送局リストの中から聴きたい放送局を選択します。

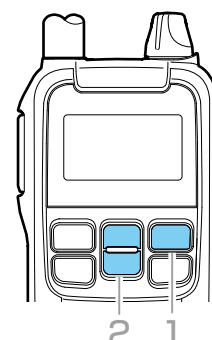
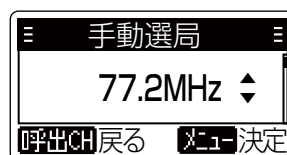
1. [メニュー/⏏]を短く押して、メニュー画面に切り替える
2. 「FMラジオ」を選択する
3. 「スキャン選局」を選択する
 - 「放送局を探しています」が表示され、スキャンが開始します。
 - スキャンが終了すると、「スキャン選局が終了しました」が表示され、放送局の一覧が表示されます。
※放送局が見つからなかった場合は、「放送局は見つかりませんでした」が表示されます。
4. 放送局を選択する
 - 「リスト登録しますか？」が表示されます。
※登録しない場合は、「キャンセル」を選択します。
登録する場合は、「決定」を選択し、放送局の登録先(未登録)を選択します。(最大20件登録可能)
※選択後は、待ち受け画面の下に選択した放送局(周波数)が表示されます。



■ 手動選局

FMラジオの周波数を手動で設定します。

1. [メニュー/⏏]を短く押して、メニュー画面に切り替える
2. 「FMラジオ」を選択する
3. 「手動選局」を選択する
 - 手動選局画面が表示されます。
4. [▼]/[▲]でラジオの周波数を設定する
5. 決定を選択する
 - 「リスト登録しますか？」が表示されます。
※登録しない場合は、「キャンセル」を選択します。
登録する場合は、「決定」を選択し、放送局の登録先(未登録)を選択します。(最大20件登録可能)
※選択後は、待ち受け画面の下に選択した放送局(周波数)が表示されます。



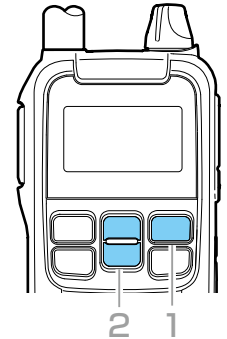
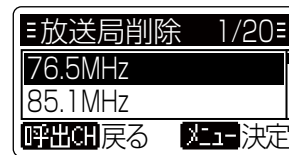
6 FM ラジオを聴く

■ 放送局削除

登録した放送局を削除します。

※放送局リストにあらかじめ登録されている放送局は、削除対象外です。(FM(NHK-FM)など)

1. [メニュー/☰]を短く押して、メニュー画面に切り替える
2. 「FMラジオ」を選択する
3. 「放送局削除」を選択する
 - 放送局削除画面が表示されます。
4. [▼]/[▲]で削除したいラジオの周波数を選択する
 - 「放送局を削除しました」が表示されます。

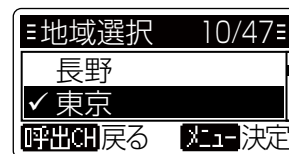


■ 地域選択

FMラジオを受信する地域を選択します。

選択すると、その地域の放送局リストに変更されます。

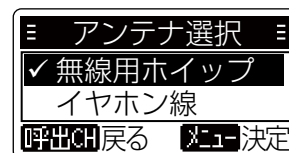
1. [メニュー/☰]を短く押して、メニュー画面に切り替える
 2. 「FMラジオ」を選択する
 3. 「地域選択」を選択する
 - 地域選択画面が表示されます。
 4. 地域を選択する
 - 「地域を変更しました」が表示されます。
- ※放送局リストで地域変更が反映されたか確認できます。



■ アンテナ選択

FMラジオ受信時に使用するアンテナを選択します。

1. [メニュー/☰]を短く押して、メニュー画面に切り替える
2. 「FMラジオ」を選択する
3. 「アンテナ選択」を選択する
4. アンテナを選択する
 - 無線用ホイップ：付属のアンテナ、または別売品のアンテナを使用する
 - イヤホン線：[マイク/イヤホン]ジャックに接続しているイヤホンをアンテナとして使用する



7 メニュー

■ 設定項目一覧

各機能は、運用状況に応じて、メニュー画面からお好みの設定に変更できます。

機能名称	選択肢	初期設定値	参照
宛先	全体/グループ/個人	全体	P.3-1
FMラジオ			
ラジオ機能	OFF/ON	OFF	P.7-2
放送局リスト	—	FM(NHK-FM)	P.7-2
スキャン選局	—	—	P.7-2
手動選局	76.0MHz～95.0MHz	76.0MHz	P.7-2
放送局削除	—	—	P.7-2
地域選択	47都道府県	東京	P.7-2
アンテナ選択	無線用ホイップ/イヤホン線	無線用ホイップ	P.7-2
履歴			
音声着信履歴	—	—	P.7-3
GPS着信履歴	—	—	P.7-3
設定			
表示設定			
LCDコントラスト	0～25	17	P.7-3
バックライト	OFF/ON	ON	P.7-3
チャンネル表示	OFF/ON	ON	P.7-3
日時関連			
日時設定	—		P.7-3
GPS時刻補正	する/しない	する	P.7-3
呼出CHスキャン	OFF/ON	OFF	P.7-3
GPS設定			
パワーセーブ時間	OFF(GPS常時ON)/5分/10分/15分/20分/オート	オート	P.7-3
未測位経過時間	OFF(GPS常時ON)/5分/10分/15分/20分	5分	P.7-4
パワーセーブ解除	キーで解除しない/キーで解除する	キーで解除しない	P.7-4
最終位置情報	—	—	P.7-4
マイク感度			
内部マイク	低い/少し低い/普通/少し高い/高い	普通	P.7-4
外部マイク	低い/少し低い/普通/少し高い/高い	普通	P.7-4
ビープ音			
発信開始音	OFF/ON	ON	P.7-4
着信終了音	OFF/ON	ON	P.7-4
キー操作音	OFF/ON	ON	P.7-4
送信禁止			
PTT送信	禁止しない/禁止する	禁止しない	P.7-4
周囲音送信	禁止しない/禁止する	禁止する	P.7-4
パワーセーブ	OFF/ON	OFF	P.7-4
リセット	—	—	P.7-4

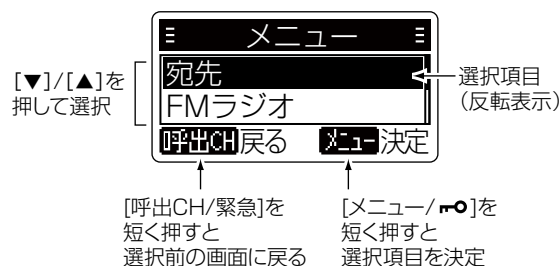
7 メニュー

■ 設定のしかた

下記の手順で各機能の設定を変更できます。

1. [メニュー/☰]を短く押して、メニュー画面に切り替える
 2. [▼]/[▲]を押して、設定項目を選択し、[メニュー/☰]を押す
 3. [▼]/[▲]を押して、設定値を選択し、[メニュー/☰]を押す
 - ・設定値が切り替わり、待ち受け画面に戻ります。
- ※[呼出CH/緊急]を押すと、選択前の画面に戻ります。
※ほかの機能も変更するときには、手順2と3の操作を繰り返します。

<メニュー画面>



■ 設定項目について

宛先 (初期設定：全体)

メニュー > 宛先

呼び出すための宛先を設定します。

- 全体 : すべての無線機を宛先にする
 - グループ : 同じグループ番号を宛先にする
 - 個人 : 登録している個人(機器ID)を宛先にする
- ※「個人」は、相手の機器IDを登録すると表示されます。
相手の機器IDの登録(P.3-5)
- ※グループと個人は、CS-DRC1(プログラミングソフトウェア)で、名称を編集できます。

ラジオ機能 (初期設定：OFF)

メニュー > FMラジオ > ラジオ機能

ラジオ機能を設定します。

- OFF : ラジオの電源を切る
[FM/電源]を短く押す操作を無効にする
- ON : ラジオの電源を入れる
[FM/電源]を短く押すごとに、ラジオをON/OFFする

放送局リスト (初期設定：FM(NHK-FM))

メニュー > FMラジオ > 放送局リスト

放送局一覧から聴きたい放送局を選択します。

スキャン選局

メニュー > FMラジオ > スキャン選局

FM周波数帯内をスキャンし、受信できた周波数が一覧表示されます。

- ※[▼]/[▲]を押して、聴きたい放送局を選択すると、放送局リストに登録できます。
放送局リストには、「スキャンした放送局」として表示されます。

手動選局 (初期設定：76.0MHz)

メニュー > FMラジオ > 手動選局

[▼]/[▲]を押してFMラジオの周波数を設定します。

※長く押しつづけると、周波数が早く切り替わります。

※[▼]/[▲]を押して、聴きたい放送局を選択すると、放送局リストに登録できます。

放送局リストには「登録した放送局」として表示されます。

- 76.0MHz～95.0MHzの中から選択する (0.1MHz刻み)

放送局削除

メニュー > FMラジオ > 放送局削除

放送局リストから登録した放送局を削除します。

地域選択

メニュー > FMラジオ > 地域選択

FMラジオを聴く地域を47都道府県から選択できます。

※放送局リストにある「コミュニティFM」については、選択した地域の放送局が表示され、その他の放送局については、選択した地域が属するエリア(関東、東海など)の放送局が放送局リストに表示されます。

アンテナ選択 (初期設定：無線用ホイップ)

メニュー > FMラジオ > アンテナ選択

FMラジオの受信に使用するアンテナを設定します。

- 無線用ホイップ : 付属のアンテナ、または別売品のアンテナを使用する
- イヤホン線 : [マイク/イヤホン]ジャックに接続しているイヤホンをアンテナとして使用する

7 メニュー

■ 設定項目について

音声着信履歴

メニュー > 履歴 > 音声着信履歴

一覧から、機器IDを選択し、[メニュー/☰]を押すと、機器ID、呼び出し種別、受信日、受信時刻が表示されます。

[▼]/[▲]で、履歴内容を選択できます。

音声の着信履歴は、最大10件まで記憶できます。

※10件を超えると、古い履歴から削除されます。

※同じ相手からの着信が連続した場合、その最終履歴だけを記憶します。

※電源を切っても、履歴は消去されません。

※音声と同時に位置情報も受信した場合は、位置情報も表示されます。

GPS着信履歴

メニュー > 履歴 > GPS着信履歴

一覧から、機器IDを選択し、[メニュー/☰]を押すと、機器ID、呼び出し種別、受信日、受信時刻、北緯、東経、高度、距離、方向が表示されます。

[▼]/[▲]で、履歴内容を選択できます。

位置情報を受信したときの着信履歴は、最大5件まで記憶できます。

※5件を超えると、古い履歴から削除されます。

※同じ相手からの着信が連続した場合、その最終履歴だけを記憶します。

※電源を切っても、履歴は消去されません。

LCDコントラスト (初期設定：17)

メニュー > 設定 > 表示設定 > LCDコントラスト

表示部のコントラスト(濃淡)を25段階で設定します。

- 選択肢 : 0(淡い)～25(濃い)

バックライト (初期設定：ON)

メニュー > 設定 > 表示設定 > バックライト

表示部のバックライト状態を設定します。

- OFF : 点灯しない
- ON : 操作時や受信時は点灯し、5秒間操作しない状態がつづくと、自動で消灯する

チャンネル表示 (初期設定：ON)

メニュー > 設定 > 表示設定 > チャンネル表示

チャンネル表示部の表示について設定します。

- OFF : 5秒間操作しない状態がつづくと、自動で非表示になる
- ON : 常にチャンネル表示部を表示する

日時設定

メニュー > 設定 > 日時関連 > 日時設定

日時を設定します。

※[▼]/[▲]で、年を選択し、[メニュー/☰]を押します。同様に繰り返して、月、日、時、分、秒を設定します。

GPS時刻補正 (初期設定：する)

メニュー > 設定 > 日時関連 > GPS時刻補正

GPS情報に含まれる時刻情報を使用して時刻を補正する機能です。

- する : 時刻を自動補正する
- しない : 時刻を自動補正しない

GPS時刻補正について

通常の使用においてはお客様による操作は必要ありませんが、以下のような場合、正しい時刻日時にならないため、日時を手動で設定してください。

(手動設定後、GPSを受信すれば(点灯)GPS時刻補正機能が正しく動作します)

- バッテリー装着後、GPSを受信することなく使用する場合
- 2028年11月5日以降にリセットをしたとき
- 10年以上GPSによる測位をしなかったとき
- 日時が著しく異なっている場合

呼出CHスキャン (初期設定：OFF)

メニュー > 設定 > 呼出CHスキャン

常に呼び出しチャンネルをスキャンする機能です。

別のチャンネルを表示していても、「呼出CH」から呼び出しがあると、「呼出CH」からの音声を受信します。

※「ON」に設定すると、待ち受け画面に「スキャン」が表示されます。

- OFF : 呼び出しチャンネルをスキャンしない
- ON : 常に呼び出しチャンネルをスキャンする

パワーセーブ時間 (初期設定：オート)

メニュー > 設定 > GPS設定 > パワーセーブ時間

電池の消費を抑えるため、GPSをパワーセーブさせる時間を設定します。

※GPS未取得(点滅)の状態が「未測位経過時間」つづくと、パワーセーブに入ります。

※パワーセーブ中は、が非表示になります。

- OFF(GPS常時ON)
 - : GPSが常に有効
- 5分 : GPSを5分間パワーセーブする
- 10分 : GPSを10分間パワーセーブする
- 15分 : GPSを15分間パワーセーブする
- 20分 : GPSを20分間パワーセーブする
- オート : 設定時間が自動で切り替わる
(5分→10分→15分→20分→5分→…)

7 メニュー

■ 設定項目について

未測位経過時間 (初期設定：5分)

メニュー > 設定 > GPS設定 > 未測位経過時間

GPS未取得(点滅)の状態になってから、パワーセーブを開始するまでの時間を設定します。

※GPSの「パワーセーブ時間」で設定された時間が経過すると、再度GPSがON(点滅)になります。

- OFF (GPS常時ON)
：GPSが常に有効
- 5分 : 5分後にGPSのパワーセーブを開始する
- 10分 : 10分後にGPSのパワーセーブを開始する
- 15分 : 15分後にGPSのパワーセーブを開始する
- 20分 : 20分後にGPSのパワーセーブを開始する

パワーセーブ解除 (初期設定：キーで解除しない)

メニュー > 設定 > GPS設定 > パワーセーブ解除

GPSのパワーセーブ中、キーを押して解除させるかどうかを設定します。

- キーで解除しない : キーを押してもパワーセーブを解除しない
- キーで解除する : キーを押すと、パワーセーブを解除する
※どのキーを押しても解除します。
※ロック機能動作中でも有効です。

最終位置情報

メニュー > 設定 > GPS設定 > 最終位置情報

最後に取得した位置情報が表示されます。

受信日、受信時刻、北緯、東経、高度が表示されます。

内部マイク (初期設定：普通)

メニュー > 設定 > マイク感度 > 内部マイク

本製品のマイク感度を設定します。

- 選択肢 : 低い/少し低い/普通/少し高い/高い
- ※感度を上げると比較的小さな声でも通信相手に聞こえやすくなりますが、周りの音も聞こえやすくなります。

外部マイク (初期設定：普通)

メニュー > 設定 > マイク感度 > 外部マイク

別売品のマイクロホンを接続したときのマイク感度を設定します。

- 選択肢 : 低い/少し低い/普通/少し高い/高い
- ※感度を上げると比較的小さな声でも通信相手に聞こえやすくなりますが、周りの音も聞こえやすくなります。

発信開始音 (初期設定：ON)

メニュー > 設定 > ビープ音 > 発信開始音

発信開始時のビープ音を設定します。

- OFF : 発信開始時のビープ音を鳴らさない
- ON : 発信開始時のビープ音を鳴らす

着信終了音 (初期設定：ON)

メニュー > 設定 > ビープ音 > 着信終了音

着信終了時のビープ音を設定します。

- OFF : 着信終了時のビープ音を鳴らさない
- ON : 着信終了時のビープ音を鳴らす

キー操作音 (初期設定：ON)

メニュー > 設定 > ビープ音 > キー操作音

キー操作時のビープ音を設定します。

- OFF : キー操作時のビープ音を鳴らさない
- ON : キー操作時のビープ音を鳴らす

PTT送信 (初期設定：禁止しない)

メニュー > 設定 > 送信禁止 > PTT送信

[PTT]を押したときの送信動作を設定します。

※送信禁止状態でも、位置情報サーチで要求された位置情報と、緊急通信の送信は禁止されません。

- 禁止しない : 送信する
- 禁止する : 送信しない
※[PTT]を押すと「送信不可」が表示されます。

周囲音送信 (初期設定：禁止する)

メニュー > 設定 > 送信禁止 > 周囲音送信

周囲音送信要求信号を受信したときの動作を設定します。

- 禁止しない : 周囲の音声を送信をする
- 禁止する : 周囲の音声を送信しない

パワーセーブ (初期設定：OFF)

メニュー > 設定 > パワーセーブ

電池の消費を抑えるため、パワーセーブ機能を設定します。

※[ON]に設定したときは、待ち受け状態が5秒を超えると、自動的にパワーセーブ機能が動作します。

※呼び出しチャンネルスキャン中は、動作しません。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

リセット

メニュー > 設定 > リセット

本製品をリセットします。

※初期状態に戻す(リセットする)には(P.9-2)

本製品を便利にお使いいただくため、下記の別売品をご用意しています。

【別売品についてのご注意】

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。

弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

■ 別売品一覧表

弊社ホームページ <http://www.icom.co.jp/> でも、別売品についてご覧いただけます。

別売品については、防塵/防水構造になっていませんので、ご注意ください。

★1 本製品に付属のものと同じです。

★2 IP54の防塵/防水性能があります。

★3 IPX4の防水性能があります。

上記、防塵/防水性能は、「IP表記について」(P.iii)をご覧ください。

※別売品を組み合わせで使用したときは、防塵/防水性能の低いものに制限されます。

バッテリー関係

BP-286*1	: Li-ionバッテリーパック (Min: 1960mAh, Typ: 2020mAh)
BP-295*2	: アルカリ電池ケース (単4形アルカリ乾電池用)
BC-231	: 2口連結充電器
BC-232*1	: ACアダプター(USBケーブル付)

変換アダプター/アンテナ関係

AD-137	: イヤホン端子変換アダプター (ジャック: ϕ 3.5mm) ※無線機に接続するコネクター部は、防塵/防水構造のため、接続後の無線機はIP54になります。 ※イヤホン接続部は、非防水です。 ※SP-13、SP-16、SP-16B、SP-16BW、SP-29と組み合わせお使いになれます。
FA-S44VS*2	: ショートアンテナ(約8cm)

ケーブル関係

OPC-2144	: スリムL型プラグ変換ケーブル
OPC-2375LS	: イヤホン専用変換ケーブル
OPC-2394	: USB2.0 A-microBケーブル ※本製品に付属のBC-232用USBケーブルと同じものです。

マイクロホン/ヘッドセット関係

HM-153LS	: イヤホンマイクロホン ※EH-14、EH-15、EH-15B、SP-28と組み合わせお使いになれます。
HM-166LS	: 小型イヤホンマイクロホン
HM-186LS	: 小型スピーカーマイクロホン
HS-85	: VOX機能付きヘッドセット ※OPC-2144が必要です。
HS-94	: イヤーフック型ヘッドセット ※VS-2Lが必要です。
HS-95	: ネックアーム型ヘッドセット ※VS-2Lが必要です。
HS-97	: 咽喉マイクロホン ※VS-2Lが必要です。
HS-99	: 耳かけ式イヤホンマイクロホン ※VS-2Lが必要です。
VS-2L*3	: VOXユニット ※OPC-2144が必要です。

イヤホン関係

EH-14	: オープンエア型イヤホン (プラグ: ϕ 2.5mm)
EH-15	: イヤホン(プラグ: ϕ 2.5mm) ※EH-15B(黒色)
SP-13	: イヤホン(プラグ: ϕ 3.5mm) ※AD-137、またはOPC-2375LSが必要です。
SP-16	: 耳かけ型イヤホン(プラグ: ϕ 3.5mm) ※ケーブル長: 約50cm ※SP-16B(黒色)/SP-16BW(黒色/ロングケーブル: 約1m) ※AD-137、またはOPC-2375LSが必要です。
SP-28	: 耳かけ型イヤホン(プラグ: ϕ 2.5mm) ※ケーブル長: 約45cm
SP-29	: 耳かけ型イヤホン(プラグ: ϕ 3.5mm) ※ケーブル長: 約97cm ※AD-137、またはOPC-2375LSが必要です。

腰にかける

MB-127	: ベルトクリップ(ストラップ用穴あり)
MBB-1*1	: ベルトクリップ

ソフトウェア関係

CS-DRC1	: プログラミングソフトウェア (無償ソフトウェア: 近日公開予定)
RS-DRC1	: GPS情報表示ソフトウェア (無償ソフトウェア: 近日公開予定)

8 別売品について

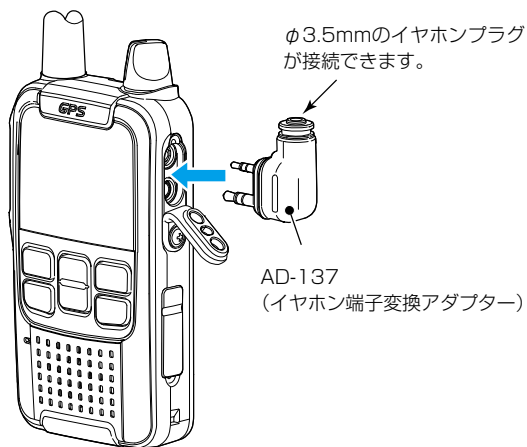
■ 別売品を接続するには

- ◎ 接続ケーブルを抜き差しする前に、本製品の電源を切ってください。
- ◎ プラグを持ってまっすぐに抜き差ししてください。
- ◎ 防塵/防水対応により、差し込み部分がかたくなっていますので、接続するときは、プラグを奥まで確実に差し込んでください。
- ◎ 無線機本体の防塵/防水性能維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、保護カバーを閉じた状態で使用ください。



■ AD-137(イヤホン端子変換アダプター)

SP-13、SP-16、SP-16B、SP-16BW、SP-29のいずれかを接続して使用します。

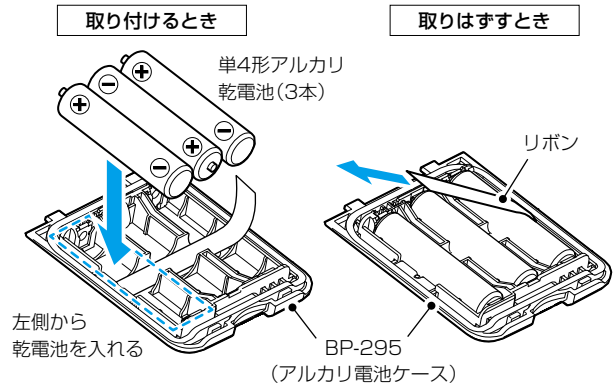


■ BP-295(アルカリ電池ケース)

◇アルカリ乾電池の取り付け/取りはずし

リボンが出ていない左側から単4形アルカリ乾電池(3本)を入れてください。

取りはずすときは、リボンを矢印の方向に引っ張ります。



△注意

リボンのはみ出しにご注意ください。
防塵/防水性能が維持できない可能性があります。

◇アルカリ電池ケースを正しくご使用いただくために

△危険

アルカリ電池ケース(BP-295)は、単4形アルカリ乾電池専用です。マンガン乾電池や単4形の充電式電池は使用しないでください。

破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、やけどの原因になります。

△注意

アルカリ電池ケースを使用しないときは、アルカリ電池ケースからアルカリ乾電池を取りはずして保管してください。

- ◎ アルカリ電池ケースの電圧が本製品の動作範囲以下になると電源が切れます。
- ◎ アルカリ電池ケースの電池端子部にゴミやホコリが付着すると正常に使用できないことがありますので、乾いたやわらかい布などで、電池端子部を定期的についでください。
- ◎ アルカリ乾電池に記載されている注意事項も併せてお読みいただき、正しくご使用ください。
- ◎ 運用時間の目安は、ivページをご覧ください。

8 別売品について

■ BC-231(2口充電器)：充電のしかた

お買い上げいただいたときや2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。
バッテリーパックを無線機に装着した状態で充電します。

△危険

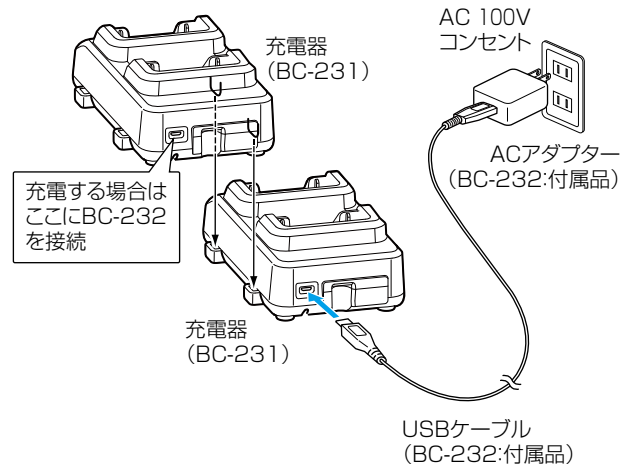
弊社指定(BP-286)以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。

- ◎充電時間は、約5時間30分です。
- ◎充電中、無線機の充電ランプは橙色に点灯します。
充電が完了すると消灯します。
※充電エラー時は、充電ランプが点滅します。
その場合は、ただちに充電をやめ、正しい温度範囲で充電しなおすか、新しいバッテリーパックに交換してください。
- ◎電源を入れたまま充電すると、充電が完了するまでの時間が長くなります。
使用しないときは、電源を切って充電してください。
- ◎充電が完了した状態で放置していても、バッテリーパックの電圧が低下すると、自動的に再充電を開始します。
※使用温度範囲外の環境や劣化が進んだバッテリーパックを充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、充電器の故障ではありません。
※充電後や充電しないときは、ACコンセントからACアダプターを抜いてください。

■ BC-231の連結について

連結する場合は、1台ごとに本製品に付属のACアダプター(BC-232)が必要になります。

1. 下図のように側面2か所で連結します。
2. USBケーブル(付属品)を、充電器に差し込んだあと、ACアダプター(付属品)をコンセントに差し込みます。



■ 日常の保守と点検について

- ◎ふだんは乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
洗剤や有機溶剤(シンナーやベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
また、バッテリーパック(BP-286)やアルカリ電池ケース(BP-295)を取りはずした状態では、乾いたやわらかい布でふいてください。
- ◎無線機本体、充電器、バッテリーパック、アルカリ電池ケースの各端子(充電端子や電源端子)にゴミやホコリが付着すると、接触不良が原因で正常に動作しないことがあります。
各端子は、乾いた布などで定期的にふいてください。
- ◎使用される前に、電池の容量が十分残っているか、表示部の残量表示(P.1-2)を確認してください。
また、アルカリ電池ケース、またはバッテリーパックなどがしっかりと装着されているか点検してください。
- ◎定期的に決まった位置の相手と通話して、通話状態に変化がないかを調べてください。
- ◎音量が最小に調整されていないか、確認してください。

■ アフターサービスについて

「■ 故障かな? と思ったら」(P.9-3)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● 保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

● 弊社製品のお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

**お問い合わせ先: アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313(フリーダイヤル)**

**◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949(通話料がかかります)**

受付(平日 9:00~17:00)


電子メール: support_center@icom.co.jp

アイコムホームページ: <http://www.icom.co.jp/>

■ 初期状態に戻す(リセットする)には

静電気などによる外部要因で本体の表示や動作がおかしくなったときは、リセットをしてください。

ご注意

◎初期化操作の前に、バッテリーパックの残量表示が (十分)の状態でおこなってください。

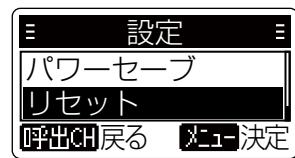
なお、設定値がリセットされ再起動するまでのあいだは、無線機の電源を切らないでください。

※リセットの途中で電源が切れると、故障の原因になることがあります。

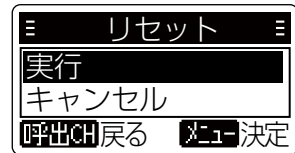
◎リセットすると、宛先の「個人」に登録された機器IDの情報がすべて消去されますので、個人呼び出しができなくなります。

リセットをする前に、登録した機器IDの情報をCS-DRC1(弊社ホームページからダウンロードできるプログラミングソフトウェア)で設定を保存することをおすすめします。(P.8-1)

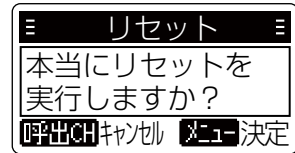
1. [メニュー/⏏]を短く押して、メニュー画面に切り替える
2. 「設定」を選択する
3. 「リセット」を選択する
4. 「実行」を選択する
 - 「本当にリセットを実行しますか？」が表示されます。
5. [メニュー/⏏]を押す
 - 「リセット」が表示され、再起動します。



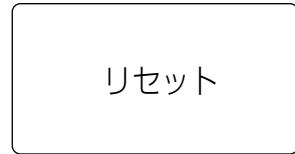
リセット選択



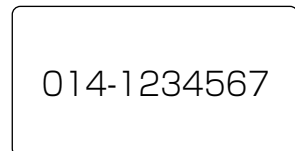
実行選択



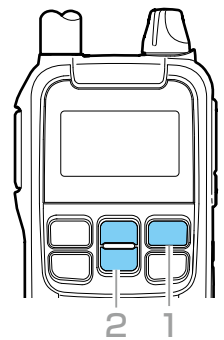
決定



オープニング画面



機器ID表示




■ 故障かな？と思ったら

下記のような現象は、故障ではありません。

修理を依頼される前にもう一度お調べください。

それでも異常があるときは、弊社サポートセンター(P.9-1)までお問い合わせください。

現象	原因	処置	参照
電源が入らない	バッテリーパック(ケース)の端子接触不良	バッテリーパック、またはアルカリ電池ケースの端子を清掃する アルカリ電池ケースをご使用の場合は、乾電池の極性を間違えていないかを確認する	— P.8-2
	バッテリーパック、または乾電池の消耗	バッテリーパックは充電し、乾電池は新しいものに交換する	—
	バッテリーパックの過放電保護回路が動作している	無線機からバッテリーパックを取りはずし、少し充電したあとにバッテリーパックをもう一度、装着してから電源を入れる	P.iv
送信できない	1分間の送信時間制限が過ぎたとき	2秒以上待ってから、もう一度、送信する	P.2-2
	ほかの無線機が送信しているため、混信防止機能が動作している	「  」が消灯してから送信する	P.2-2
	「PTT送信」設定を「禁止する」に設定している	「PTT送信」設定を「禁止しない」に設定する	P.7-4
スピーカーやイヤホンから音が聞こえない	音量が最小に調整されている	無線機本体の音量レベルを確認する	P.1-1
「キーロック中」と表示される	ロック機能が動作している	ロック機能を解除する	P.2-2
充電が完了しない	無線機の電源を入れた状態で充電している	無線機の電源を切った状態で充電する	P.iv
バッテリーパックが差し込まれているのに充電ランプが消えた	バッテリーパックが正しく装着されていない	USBケーブルを挿しなおす 充電器に正しく装着しなおす	P.iv P.8-3
充電中に、無線機の充電ランプが点灯しない	ACアダプターが正しく接続されていない	ACコンセントに正しく接続されていることを確認する	P.iv
	0℃～40℃以外の環境で充電している	0℃～40℃の環境で充電する	—
	各端子(充電端子や電源端子)の接触不良	ゴミやホコリが各端子に付着していないことを確認する	—
	十分に充電されている(満充電時)ときに充電している	バッテリーの消耗を防止するため、満充電時は、充電を開始しません。 ※充電ランプは点灯しませんが、故障ではありません。	P.iv
通話できない(応答がない)	相手と距離がはなれすぎている	場所を移動してから通話してみる	P.2-2
	相手が不在、または電源を切っている	相手の状態を確認する	—
	相手と通話チャンネルが合っていない	相手と同じに通話チャンネルに設定する	P.2-1

10 USBドライバーのインストール

■ インストールについて

本製品とパソコンをUSBケーブルで接続し、シリアル通信をするために必要なUSBドライバーをパソコンにインストールする手順について説明します。

◇動作環境について

◎対応OS

Windows 10 (32/64ビット)

Windows 8.1 (32/64ビット)
(Windows RTを除く)

Windows 7 (32/64ビット)

※上記OSに対応しているパソコンのすべてを動作保証するものではありません。

◎ポート

USBポート(USB1.1/USB2.0/USB3.0対応)

USBドライバーのダウンロードについて

インターネットから、
弊社ホームページ <http://www.icom.co.jp/> にアクセスしていただき、サポート情報(サポート情報→各種ダウンロード)よりダウンロードしてください。

※弊社ホームページからダウンロードする手順は、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

◇インストールのしかた

【Windows 10の場合】

ドライバーのインストールは不要です。

パソコンのUSBポートに接続するだけでご利用いただけます。

※標準ドライバーを使用しているため、デバイスマネージャー画面に無線機名が表示されません。

無線機名を表示させたいときはUSBドライバーを手動でインストールしてください。

【Windows 8.1/Windows 7の場合】

ご注意

USBドライバーをインストールするまで、本製品とパソコンをUSBケーブルで接続しないでください。

※インストールする前に接続すると、適切なUSBドライバーが認識されません。

※本書では、Windows 7を例に説明しています。

1. 本製品とパソコンがUSBケーブルで接続されていないことを確認します。
2. 管理者権限でログオンします。
※ほかのソフトウェアを起動しているときは、すべて終了してください。
3. 弊社ホームページよりダウンロードしたファイルを解凍後、インストーラーの保存先フォルダーを開きます。
4. 「setup32.exe」*をダブルクリックして、USBドライバーのインストーラーを起動します。
★64ビットOSの場合は「setup64.exe」をダブルクリックします。
※「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、〈はい〉をクリックします。
※ご使用のパソコンで、ファイルの拡張子を表示したいときは、「エクスプローラーのオプション」の表示設定を変更してください。

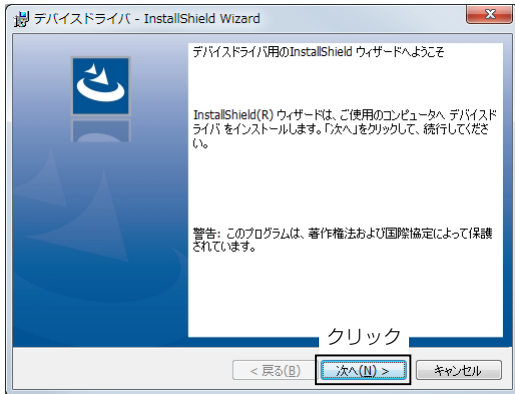
(次のページへ)

10 USBドライバーのインストール

■ インストールについて

◇インストールのしかた

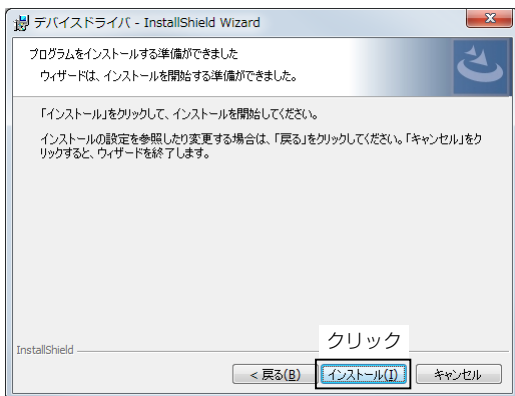
5. 下の画面が表示されたら、〈次へ(N)〉をクリックします。



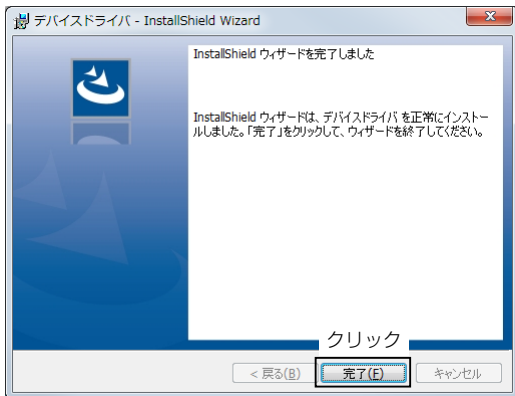
6. 下の画面が表示されたら、〈インストール〉をクリックします。

※「デバイスドライバの Installer 情報」画面が表示されたら、〈OK〉をクリックします。

※「Windows セキュリティ」画面が表示された場合は、〈インストール(I)〉をクリックします。



7. 下の画面が表示されたら、〈完了〉をクリックします。



8. パソコンと本製品をUSBケーブルで接続し、本製品の電源を入れます。

※ご使用のパソコンによっては、再起動の確認画面が表示されますので、画面の指示にしたがって操作してください。

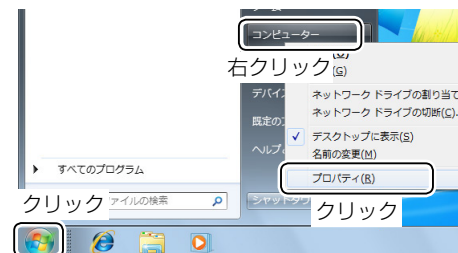
※アンインストールは、〈スタート〉→[コントロールパネル]→[プログラムのアンインストール]からできます。Windows 10では、〈スタート〉→[設定]→[アプリ]にある[アプリと機能]からできます。Windows 8.1では、デスクトップ右下→[設定]チャーム→[コントロールパネル]にある[プログラムのアンインストール]からできます。

◇COMポートの確認

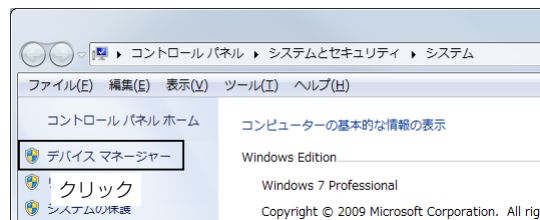
本製品をパソコンに接続した状態で、USBドライバーが正常にインストールされていることを確認します。

1. タスクバーのフォルダーアイコンをクリックします。
2. 下図のように、「コンピューター」を右クリックし、表示されたメニューの[プロパティ(R)]をクリックします。

※Windows 10、Windows 8.1の場合は「PC」を右クリックして、[プロパティ(R)]をクリックします。



3. 「デバイス マネージャー」をクリックします。



4. 「デバイス マネージャー」画面の[ポート(COMとLPT)]項目をダブルクリックします。

• 下図のように表示されていれば、USBドライバーは正常にインストールされています。



※Windows 10で、自動認識された場合は、「USB シリアル デバイス(COM * *)」(例：COM16)と表示されます。

※COMポート番号は、パソコンの環境によって異なります。
※「デバイス マネージャー」画面で「!」や「×」マークが表示されている場合は、USBドライバーをアンインストール後、再インストールしてください。

11 定格

■ 無線機本体

送受信周波数範囲	142.934375～142.984375MHz 146.934375～146.984375MHz
チャンネル数	18チャンネル
電波型式	F1D/F1E
変調方式	4値FSK
使用温度範囲	-10～+50℃
電源電圧	DC3.8V(BP-286：バッテリーパック)、DC4.5V(BP-295：アルカリ電池ケース)、 DC5.0V(DC IN：[USB接続])
消費電流	送信時 600mA以下 受信時 250mA以下(外部SP 8Ω AF最大時、非充電時)
送信出力	500mW(+20%、-50%)
低周波出力	100mW以上(8Ω、10%歪時 外部スピーカー使用時) 300mW以上(16Ω、10%歪時 内部スピーカー使用時)
アンテナインピーダンス	50Ω
受信方式	シンセサイザー発振によるダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	-3dB μ Vemf以下 (BER=1×10 ⁻² スタティック時) +5dB μ Vemf以下 (BER=3×10 ⁻² フェージング時)
外形寸法	55(W)×101.5(H)×23.1(D)mm(本体のみ、突起物を除く)
重量	約110g(付属品を除く)

■ BP-286 バッテリーパック(付属品)

電池種類	リチウムイオン
電池容量	1960mAh Min. (2020mAh Typ.)
出力電圧	3.8V
外形寸法	45.6(W)×50.0(H)×6.9(D)mm(突起物を除く)

■ BC-232 ACアダプター OPC-2394 USBケーブル(付属品)

入力電圧	DC 5V
使用温度範囲	0～40℃
重量	約83g(USBケーブル接続時)
外形寸法	33.0(W)×23.0(H)×42.5(D)mm
ケーブル長	1.5m

■ BP-295 アルカリ電池ケース(別売品)

電源電圧	単4アルカリ乾電池 3本
重量	約16g(乾電池を除く)
外形寸法	54.3(W)×65.5(H)×11.4(D)mm(突起物を除く)

■ BC-231 2口充電器(別売品)

電源電圧	DC 5.0V±0.25V
充電電流	500mA±15%×2
使用温度範囲	0～40℃
重量	約170g(充電器本体のみ)
外形寸法	88(W)×53.5(H)×154.5(D)mm(突起物を除く)

※定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

高品質がテーマです。